

1. 法的脳死判定脳波検査のための基礎

1-5) 電極さわりの記録とは

脳波計の総合動作、装着した電極の位置、近くの電極とのペースト結合や大量の発汗などでの頭皮の過剰水分等による電極間短絡がないこと(電極抵抗が 100 Ω 以上かどうかで間接的に判断)などの確認を目的としています。

◎実施は必須であり、記録は紙もしくはハードディスクに保存しておいて下さい。

ECI モンタージュをそのまま使ってもできますが(さわりの専用モンタージュを準備するのも良いでしょう)、感度を下げ(20~50 μ V/mm)程度、紙速度 10mm/秒程度など、条件を若干変更させて記録を取ると見やすくなります。

実施は、電極を綿棒か指先で各電極を触ります。該当するペンのみ振れ、複数のペンが振れないことを観察します。できるだけ1ページ以内に収めると見やすいでしょう。

可能であれば複数の技師が、それぞれ触る電極を決めておき用紙の上から下へと電極を触るような手順で行えばミスすることがありません。R→L→R→L と交互に触るより左半球→右半球と進める方法が容易です。本番前テスト記録で練習しておきます。